

「クラウド型EHR高度化事業」 交付先候補 提案概要

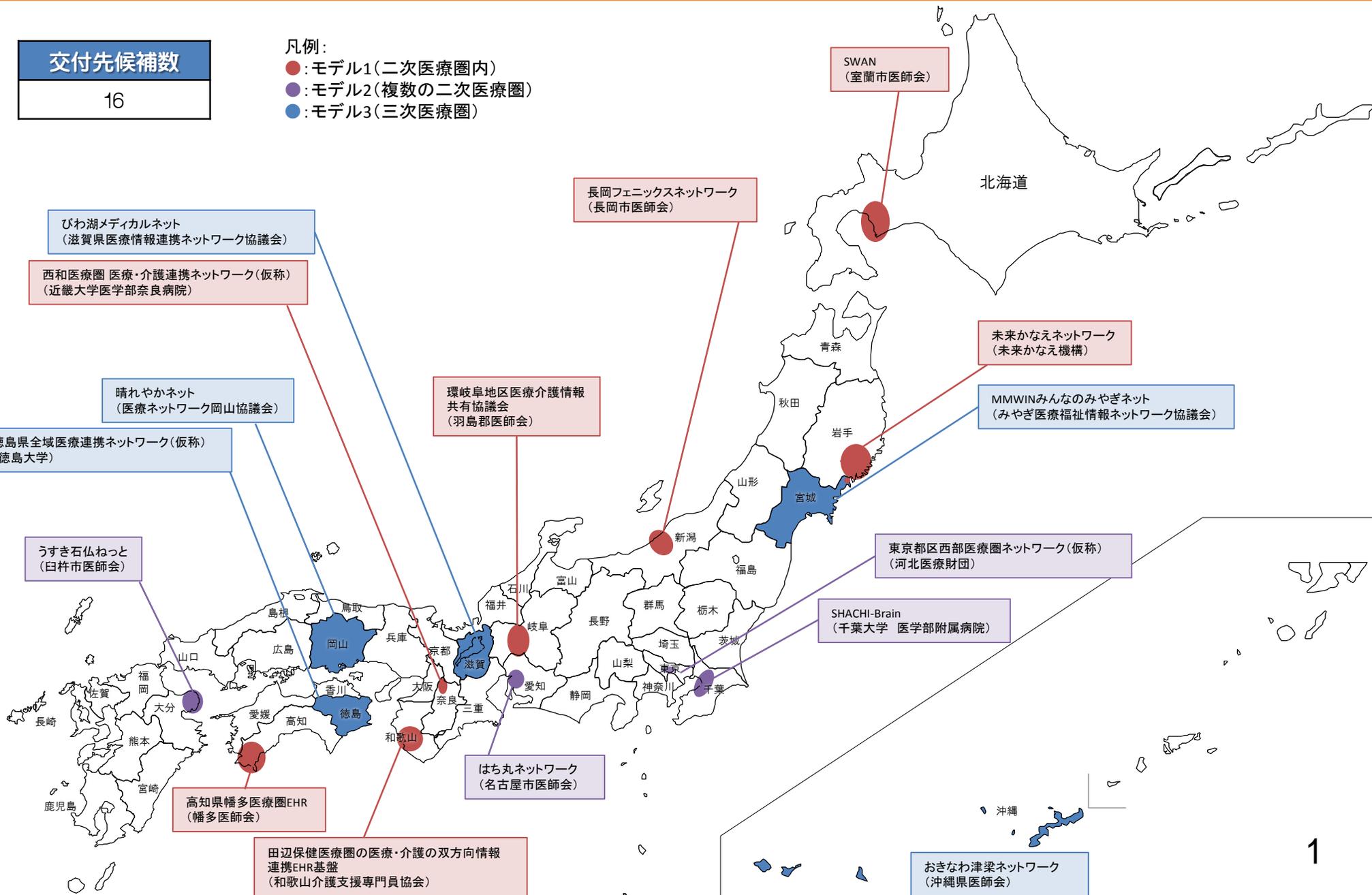
クラウド型EHR高度化事業 交付先候補一覧

交付先候補数

16

凡例:

- : モデル1(二次医療圏内)
- : モデル2(複数の二次医療圏)
- : モデル3(三次医療圏)



SWANネットクラウド型高機能EHR事業

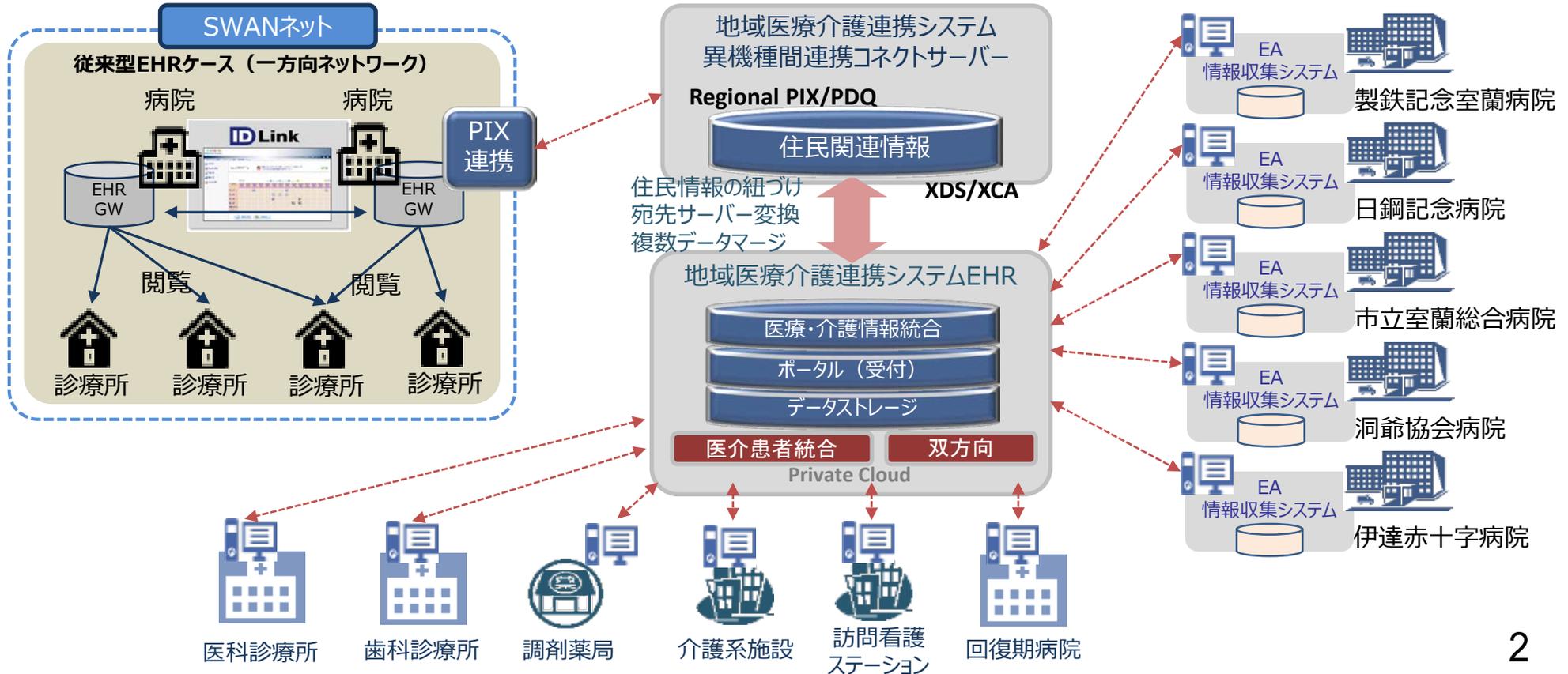
提案者 公益社団法人 室蘭市医師会

事業規模 モデル1

実施地域 北海道西胆振医療圏

事業概要

既存の一方方向性の地域医療ネットワーク「SWANネット」を双方向化するとともに、電子カルテに依存せずに情報を開示できる仕組みを構築する。これにより病院、医科歯科診療所、調剤薬局、介護施設など様々な施設間で、多職種による双方向連携を実現する。



岩手県未来かなえネットワークのEHR高度化事業

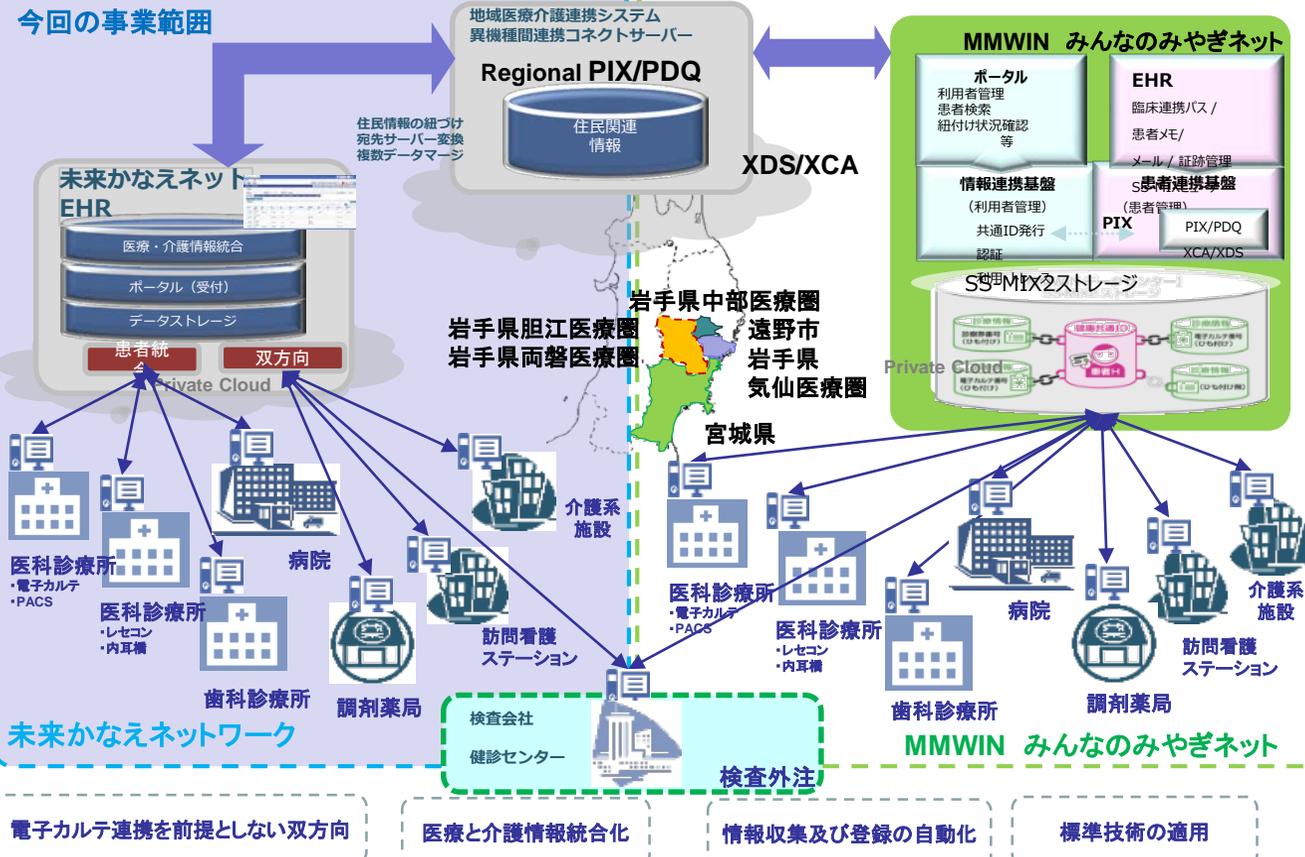
提案者	一般社団法人 未来かなえ機構		
事業規模	モデル1	実施地域	岩手県気仙医療圏（隣接する医療圏の一部を含む）
事業概要	現在、岩手県気仙医療圏にて未来かなえネットワークを2016年3月29日に稼働開始し、2017年1月20日現在参加施設56施設/登録住民7,251名(対人口11.4%)に達しており、完全な医療介護統合の双方向性連携を多職種間で実現している。その既に高度化されているEHRを患者流動性を考慮した隣圏(中部医療圏・両磐医療圏・宮城県気仙沼市・東北大学病院)と、標準技術を活用した連携を実現し、住民及び多職種の利用価値最大化を実現する。		

標準技術を活用した、異機種連携の実現
PIX/PDQ、XDS/XCA

気仙医療圏と中部・両磐医療圏の患者流動性を考慮したEHR連携の実現
病院: 県立遠野・一関市内病院
診療所: 住田町診療センター

気仙医療圏と宮城県医療圏の患者流動性を考慮したEHR連携の実現
病院: 宮城県気仙沼市立病院/東北大学病院
診療所: 一関市内診療所 陸前高田市内診療所

災害対策向け住民医療介護情報のバックアップ化



対象地域人口
: 63,536人

住民・区民参加型の地域医療介護連携の実現

利用者価値の最大化のための各種自動化

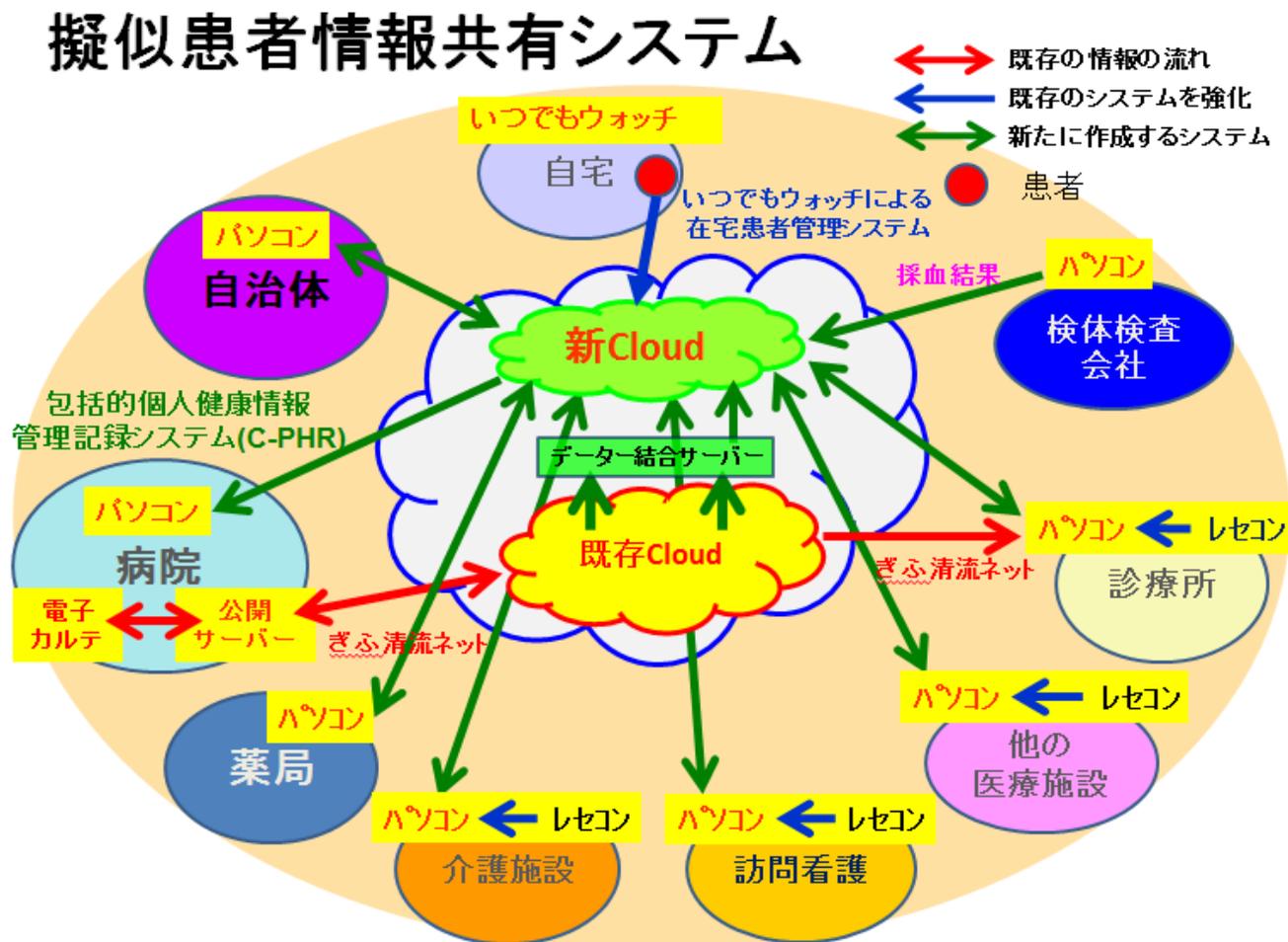
PHR住民参加合意取得サービス等の活用による、二次利用等への拡大

継続性を担保するための事業戦略と法人化

- 電子カルテ連携を前提としない双方向
- 医療と介護情報統合化
- 情報収集及び登録の自動化
- 標準技術の適用

擬似患者情報共有システムの構築

提案者	一般社団法人 羽島郡医師会		
事業規模	モデル1	実施地域	岐阜県岐阜医療圏（うち羽島市、羽島郡、各務原市、瑞穂市、本巣市、山県市、北方町）
事業概要	クラウドと既存システムを利用し、包括的個人健康情報管理記録を発展させた、「擬似患者情報共有システム」の構築		



西和医療圏 クラウド型EHR高度化事業

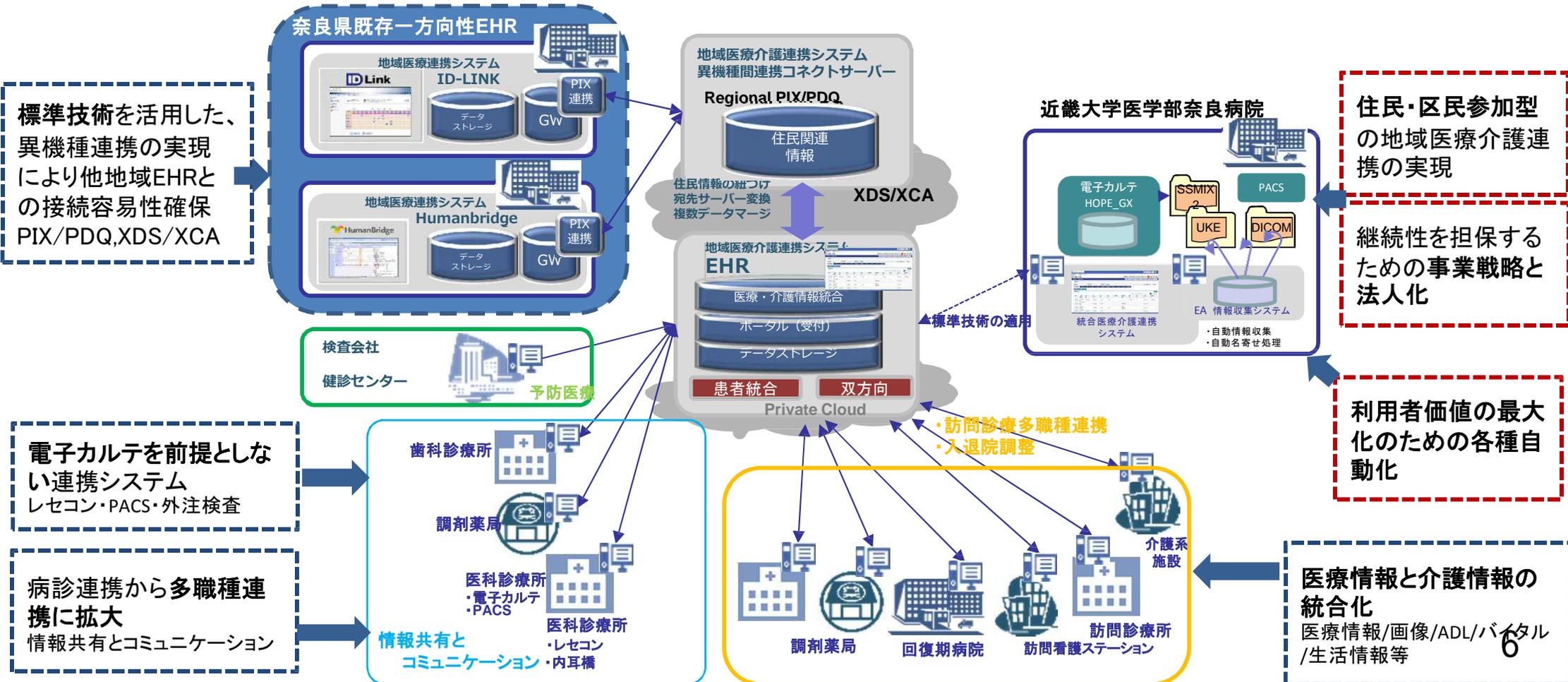
提案者 近畿大学医学部奈良病院

事業規模 モデル1

実施地域 奈良県西和医療圏

事業概要

近畿大学医学部奈良病院を中心に、西和医療圏を対象とした双方向性の地域医療・介護連携ネットワークを整備する。病院、診療所(医科、歯科)、調剤薬局、介護施設を接続対象とし、多施設・多職種における双方向連携を実現する。標準技術を用い、奈良県に既に存在する一方向性のEHRとの相互データ連携を可能とする。

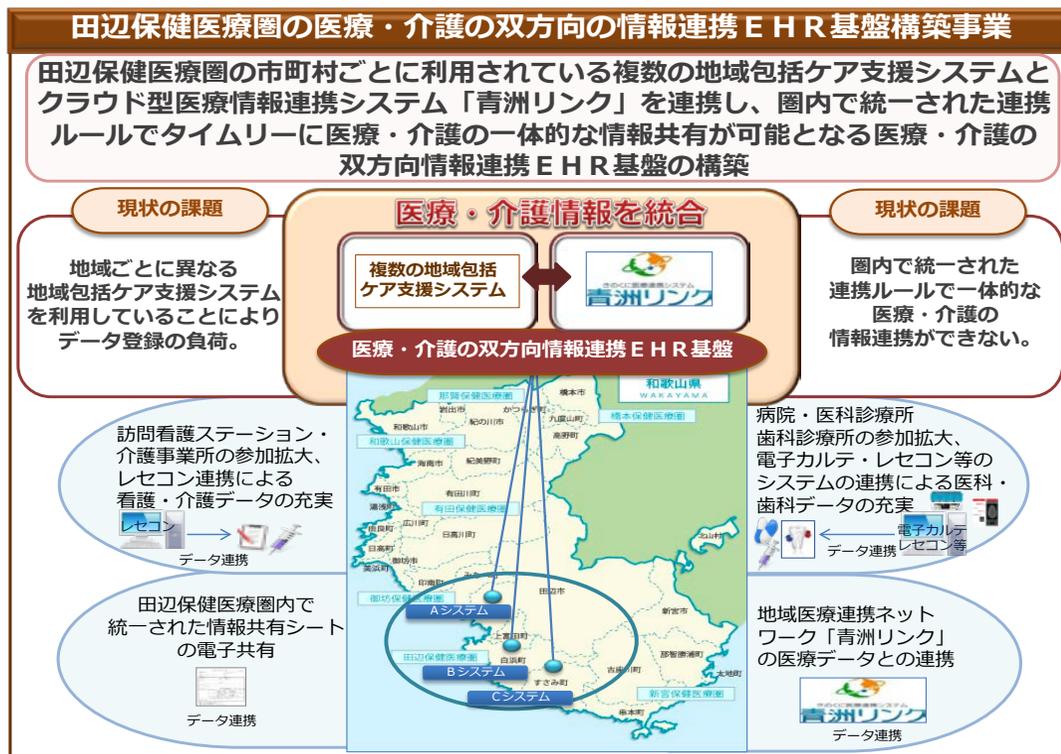


田辺保健医療圏の医療・介護の双方向情報連携EHR基盤構築事業

提案者 一般社団法人 和歌山県介護支援専門員協会

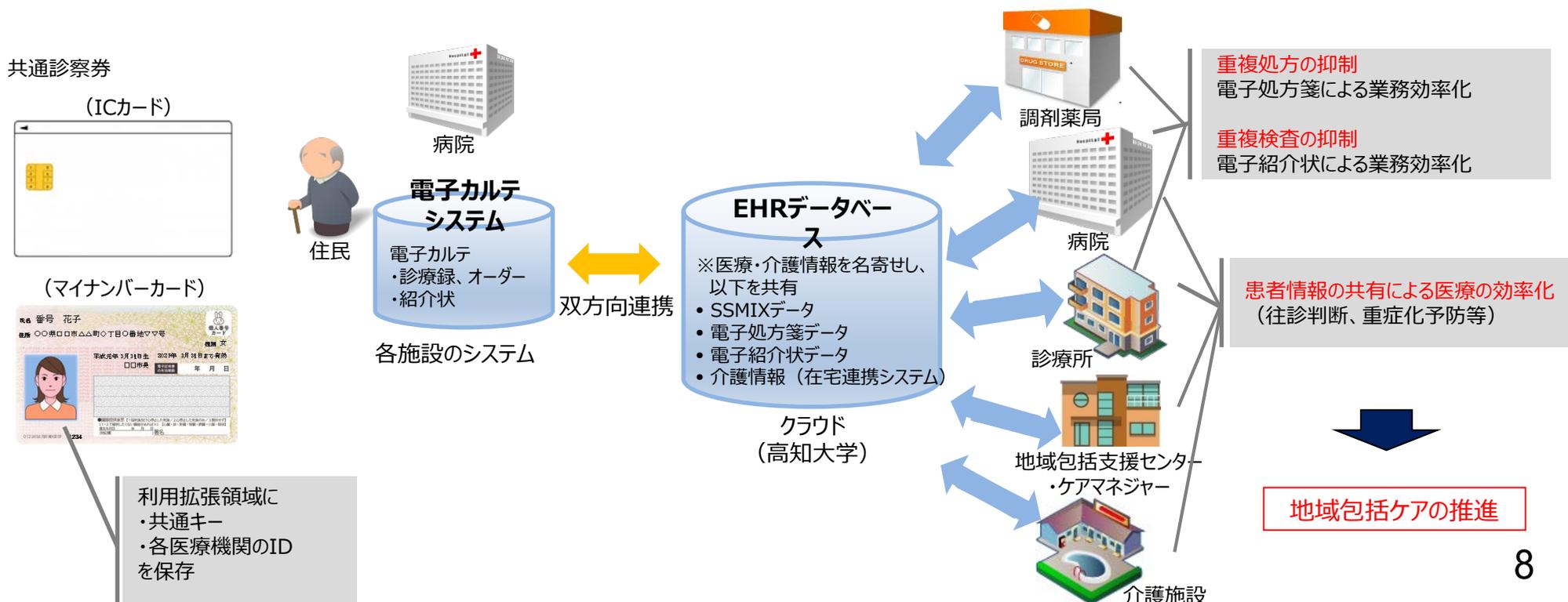
事業規模 モデル1 **実施地域** 和歌山県田辺医療圏

事業概要 田辺保健医療圏の市町村ごとに利用されている複数の地域包括ケア支援システムとクラウド型医療情報連携システム「青洲リンク」を連携し、圏内で統一された連携ルールでタイムリーに医療・介護の一体的な情報共有が可能となる医療・介護の双方向情報連携EHR基盤を構築する。入院から退院後の在宅医療・介護の切れ目のない情報連携が可能となることで、安心・安全な医療・介護サービスを楽しむことができ、地域住民が住みなれた地域でいきいきと暮らせる地域社会の実現に寄与する。



高知県幡多郡クラウド型EHR高度化事業

提案者	一般社団法人 幡多医師会		
事業規模	モデル1	実施地域	高知県幡多医療圏
事業概要	<p>幡多医療圏の医療機関、介護施設に加えて、薬局、歯科医院が参加し、医療側はSSMIX2データのほか、処方箋・紹介状等のデータを連携し、介護側はケアプラン、提供予定、患者基本情報等のデータを連携する。医療と介護は、既存の在宅連携システムを介して連携して、地域の医療・介護資源を効率的に配分し、もって地域包括ケアを総合的かつ強力に推進する。データの連携にあたっては住民に共通IDを発行し、住民からの希望があれば、マイナンバーカードの利用拡張領域に共通IDを保存して、これを共通診察券として利用可能とする。</p>		

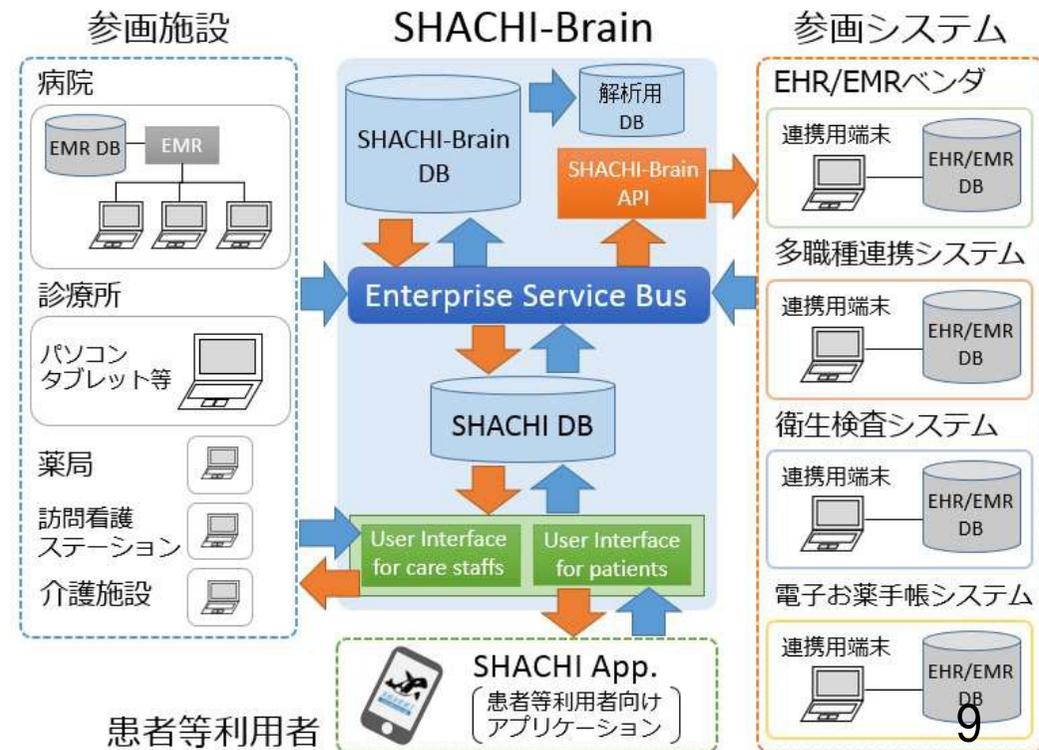
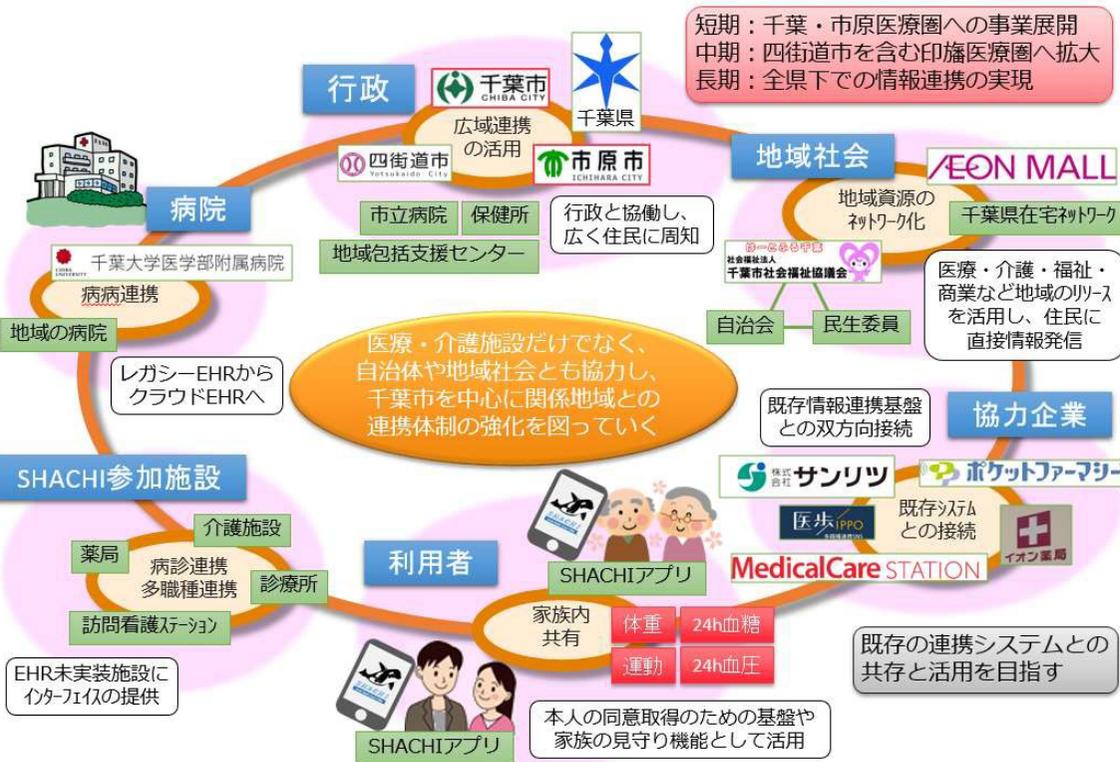


EHRスマートハンドシェイクの構築

提案者	国立大学法人 千葉大学 医学部附属病院		
事業規模	モデル2	実施地域	千葉県千葉医療圏(うち中央区、美浜区、緑区)、市原医療圏
事業概要	<p>本事業は、医療機関や介護施設等の個々の施設のみならず、医療・介護サービス提供者の様々なシステムを連携させる高度化EHR「SHACHI-Brain」を構築し、住民の健康改善・維持に関わる健康・医療・介護情報を一元的に扱う良好なサービスを提供することを目的とする。本事業ではこのような枠組みを「EHRスマートハンドシェイク」と名付け、千葉市・市原市等の行政既存の医療・介護連携システム、イオンをはじめとした地元企業や地域社会と協力し、事業を遂行する。</p>		

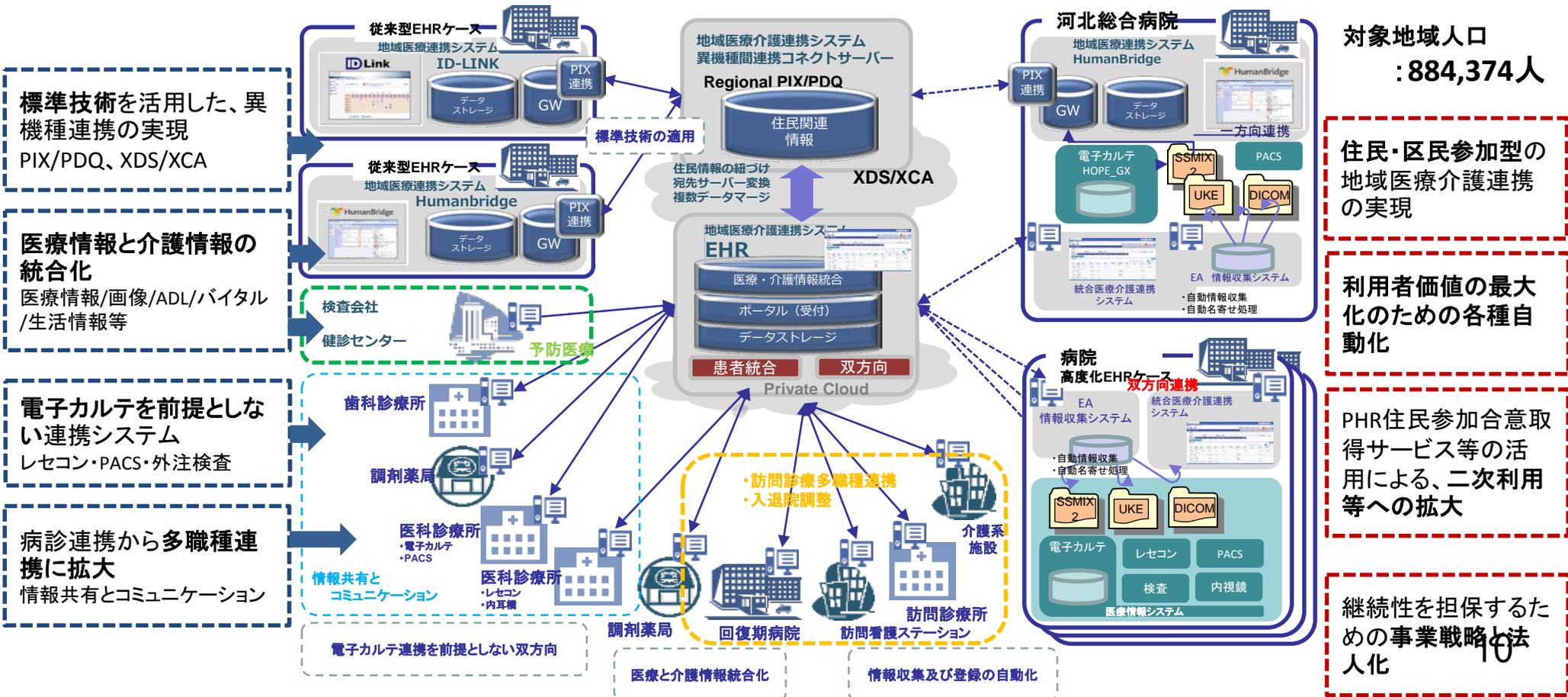
千葉市・市原市を中心とした事業体制

SHACHI-Brainのシステム概要図



東京都区西部医療圏における地域医療介護連携ネットワーク構築事業

提案者	社会医療法人 河北医療財団		
事業規模	モデル2	実施地域	東京都区西部医療圏(うち杉並区、中野区)
事業概要	現在、河北総合病院を中心に稼働している従来型EHRを、電子カルテを前提としない医療と介護の統合化を実現した上で双方向連携を多職種間で実現し、クラウド型EHRを高度化をした上で、地域の拡大を実現する。又事業の継続性を担保するための法人化。		



はち丸ネットワーク高度化事業

提案者	一般社団法人 名古屋市医師会		
事業規模	モデル2	実施地域	愛知県名古屋医療圏
事業概要	はち丸ネットワーク（医療連携基盤・看護・介護連携基盤・多職種連携基盤）の高度化を図り、二重入力の解消、双方向連携の推進、各システムにおけるIDの名寄せ、電子署名を活用した各種書類の電子的送受の活性化を目指す。		



大分県うすき石仏ねっと高度化事業

提案者

一般社団法人 臼杵市医師会(うすき石仏ねっと運営協議会)

事業規模

モデル2

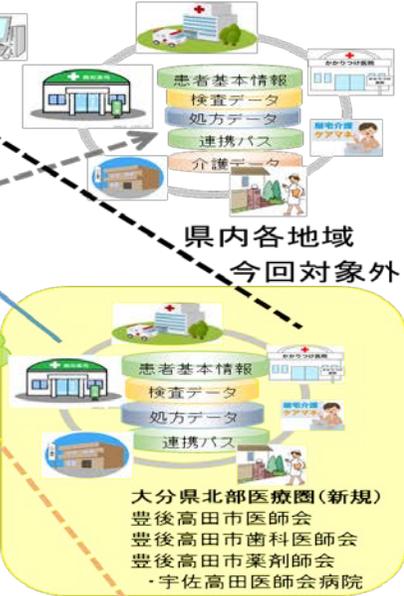
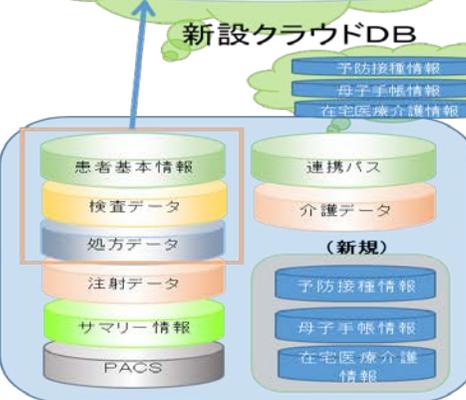
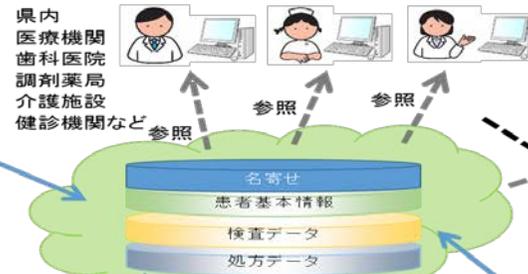
実施地域

大分県中部医療圏、北部医療圏

事業概要

大分県臼杵市で行われている健康・医療・介護連携システム『うすき石仏ねっと』の健康・医療・介護情報DBから新設のクラウドサーバへ患者基本情報、検査情報、処方情報を連携する。新設クラウドサーバとの連携先は大分県と同じ2次医療圏である大分市の3病院、津久見市1病院、由布市の1病院と調剤薬局である。また『うすき石仏ねっと』を拡張してクラウド型電子母子手帳、在宅医療連携システムとの連携を行う。このクラウドサーバを利用して他の医療圏である大分県豊後高田市で医療・介護の情報共有を行い地域包括ケアの効率化を行う。

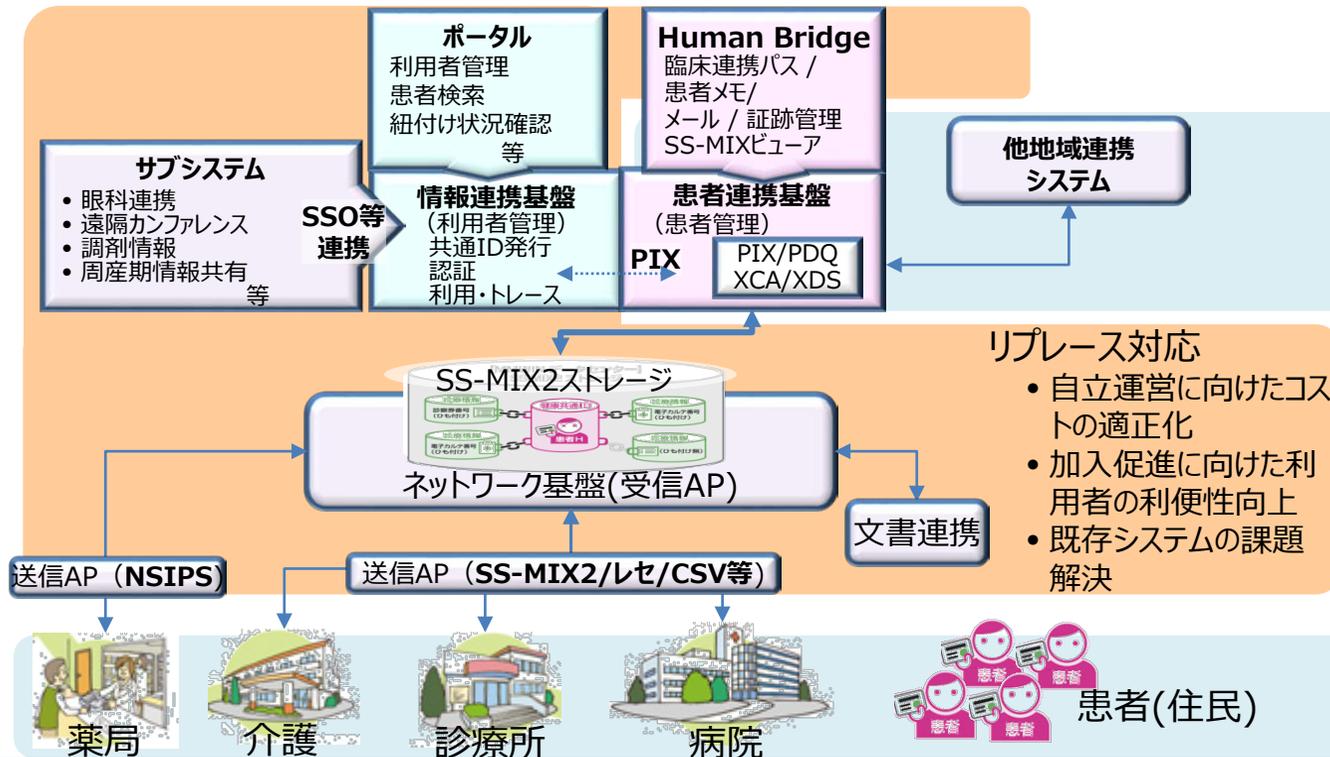
クラウド型EHR高度化事業



MMWINリプレース & 高度EHR化事業

提案者	一般社団法人 みやぎ医療福祉情報ネットワーク協議会		
事業規模	モデル3	実施地域	宮城県
事業概要	<p>当初より予定していたリプレース対応と組み合わせて、EHR高度化を実現していく：</p> <ul style="list-style-type: none"> リプレース対応：「自立運営に向けたコストの適正化」「加入促進に向けた利用者の利便性向上」「既存システムの課題解決」を行う EHR高度化：現MMWINで不足要件の機能適用を行い、施設・患者獲得プロモーションを実施 		

MMWIN リプレース & 高度 E H R 化事業



EHR高度化

システム機能要件の適合：

- 現MMWINで不足要件の機能適用
 - 他ネットワーク連携 (PIX・XCA)
 - 他地域ネット間接続IF
 - ID紐付機能拡張
 - 名寄せ省力化・自動化
 - アクセス権限制御の柔軟化
 - 各種ログ出力拡張

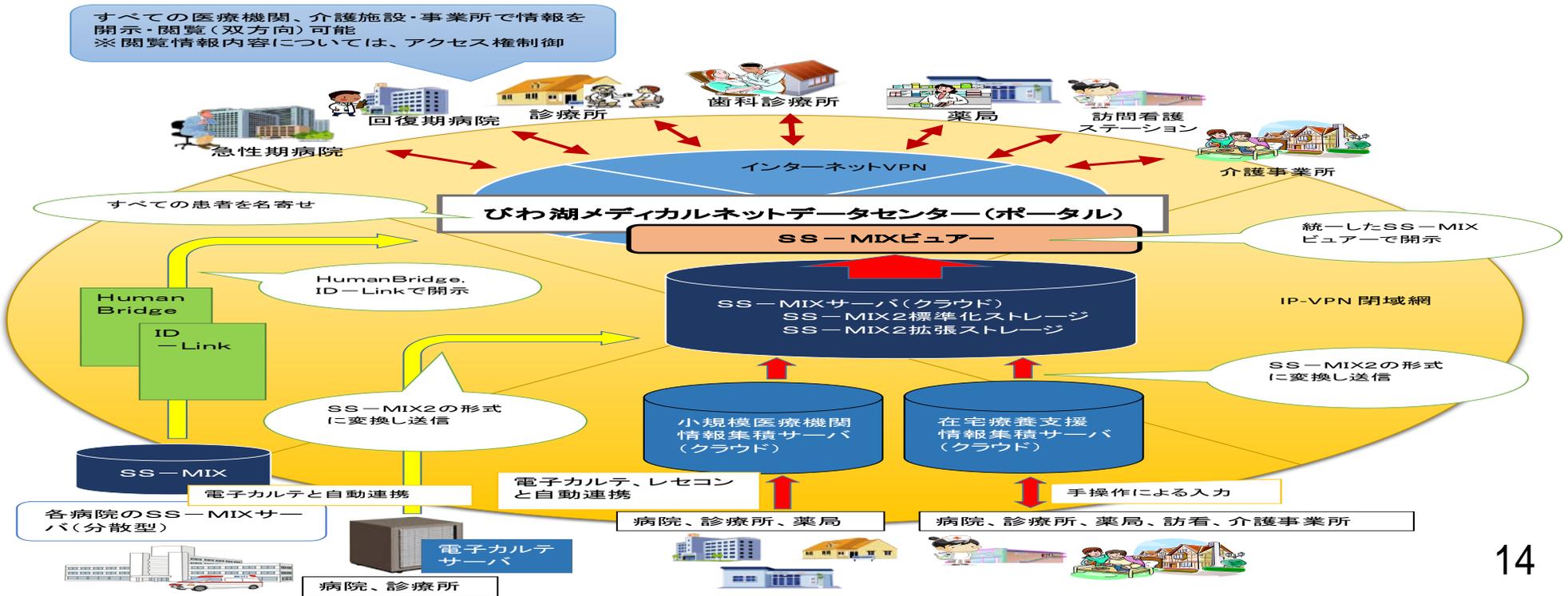
規模要件等への適合：

- 施設・患者獲得プロモーション実施
 - 情報開示施設の増加促進
 - 同意患者数の規定条件獲得

クラウド型EHR高度化事業

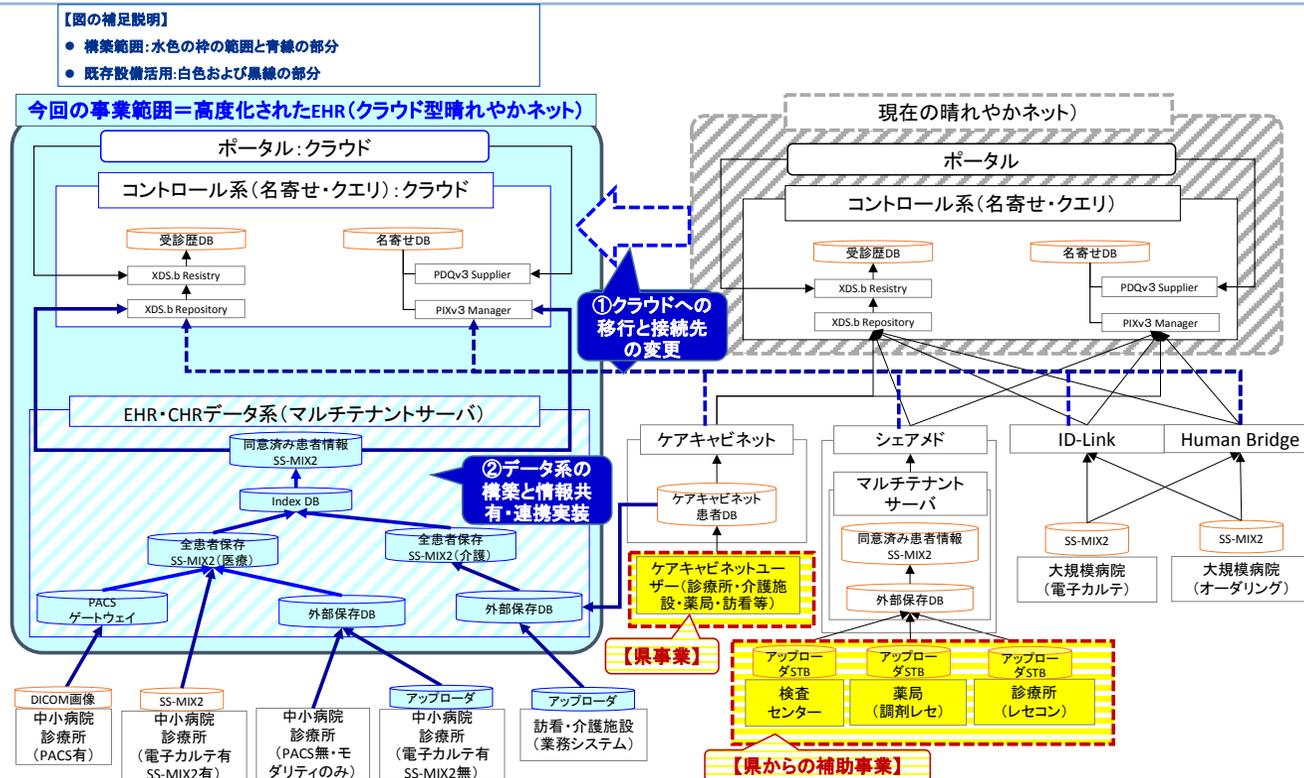
提案者	特定非営利活動法人 滋賀県医療情報連携ネットワーク協議会		
事業規模	モデル3	実施地域	滋賀県
事業概要	<p>県全域において、クラウド型EHRの新たな構築に取り組む中で、医療情報ネットワークの統合やセキュリティ機能の向上、小規模医療機関の情報開示・閲覧機能の整備といった機能整備を図り、多くの医療機関や介護施設・事業所が参加し、必要な情報を双方向で円滑に共有できる利便性に富んだ総合的なネットワークを実現する。また、クラウドに集積した医療情報の将来における利活用の推進を図る。</p>		

びわ湖メディカルネットのイメージ図



晴れやかネット・クラウド型EHR高度化事業

提案者	一般社団法人 医療ネットワーク岡山協議会		
事業規模	モデル3	実施地域	岡山県
事業概要	<p>いずれも全県で推進している、当法人が運営する医療連携「晴れやかネット」、および岡山県が事業主体である多職種連携「ケアキャビネット」の更なる普及を進めることにより、岡山県の医療介護の課題解決を図るため、①クラウド型EHR基盤整備、②連携に必要な情報の見直しとその情報連携の仕組みの追加又は変更、③参加施設や同意患者を増やすための仕組みの構築と活動、の3つを行う。なお、本事業の効果을最大化するため、本事業と並行して県事業(ケアキャビネットの利用者拡大)・県からの補助事業(シェアメドの利用者拡大)を推進する。</p>		

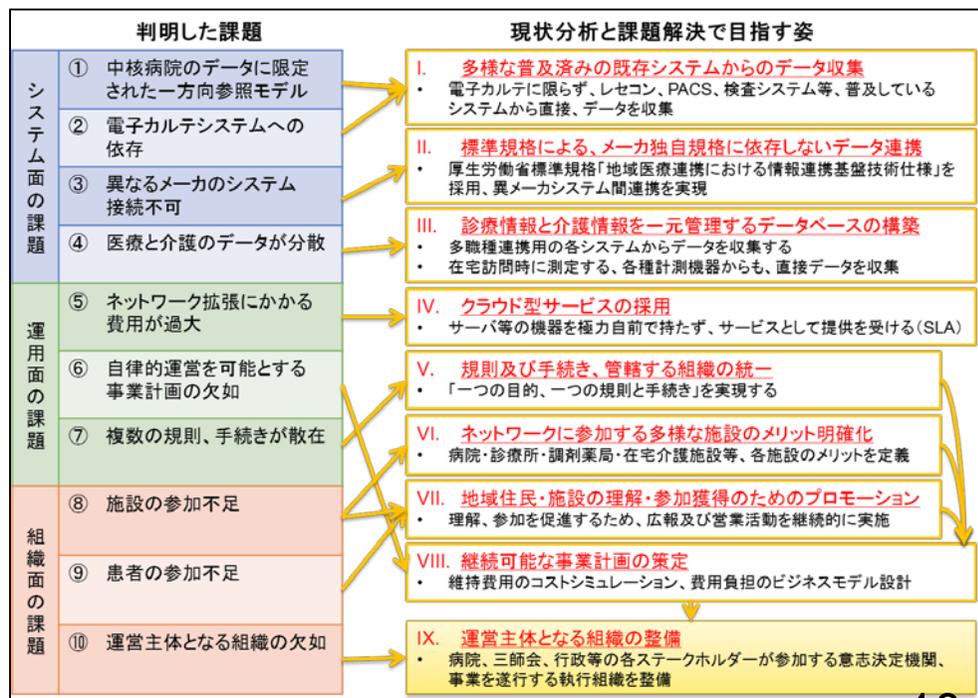
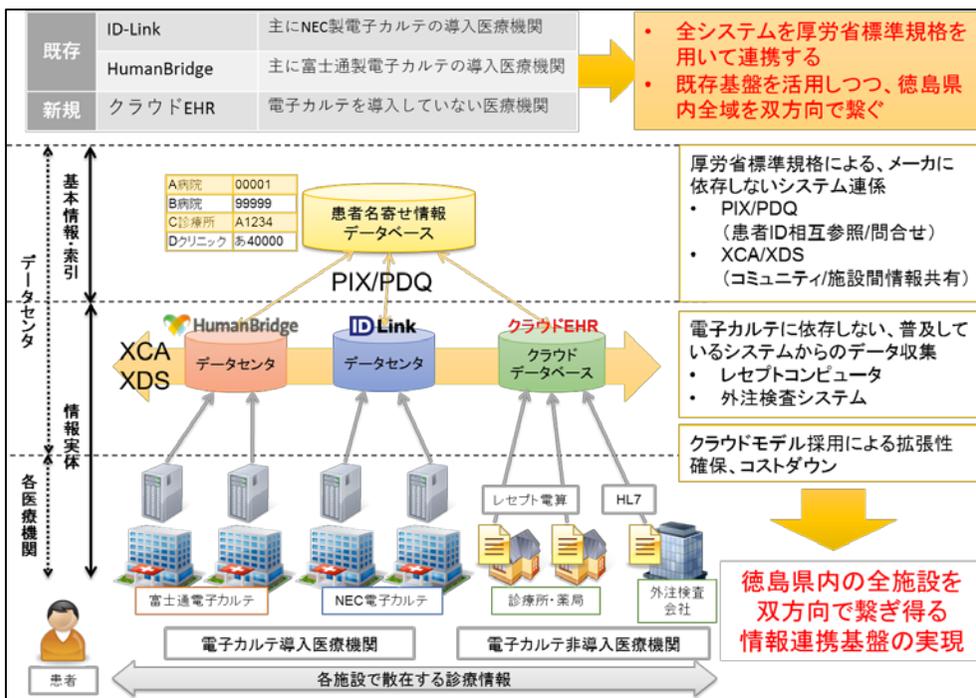


徳島県全域医療連携ネットワーク(仮称)

提案者	国立大学法人 徳島大学		
事業規模	モデル3	実施地域	徳島県
事業概要	<p>徳島県内で医介情報を施設の別なく収集し、一連の記録として他職種間での共有を実現する。既存のシステムを活用しつつ、電子カルテを保有しない医療機関に対しては、新規にクラウド型EHRを構築し、もって県内全域を双方向で繋ぐ。</p> <p>さらに県全域の医療情報連携基盤を運営・拡充する組織を構築し、事業化する。</p>		

基盤整備(徳島県全域EHR基盤)

組織整備(運営主体・運用規則)



おきなわ津梁ネットワーククラウド型高機能EHR事業

提案者	一般社団法人 沖縄県医師会		
事業規模	モデル3	実施地域	沖縄県
事業概要	参加施設より提供される医療・健康・介護情報を、厚労省の標準規格で集積し、高度急性期病院から在宅までの関連施設における双方向の情報連携を行う。また、PLRを含め、集積した健康情報の円滑な二次利用を促進するための基盤整備を行う。さらに他県との情報連携を見据えた基盤整備を行う。		

おきなわ津梁ネットワーク クラウド型EHR高度化事業

